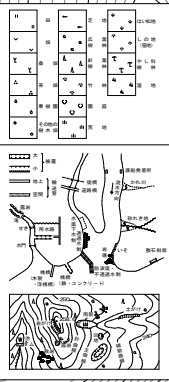
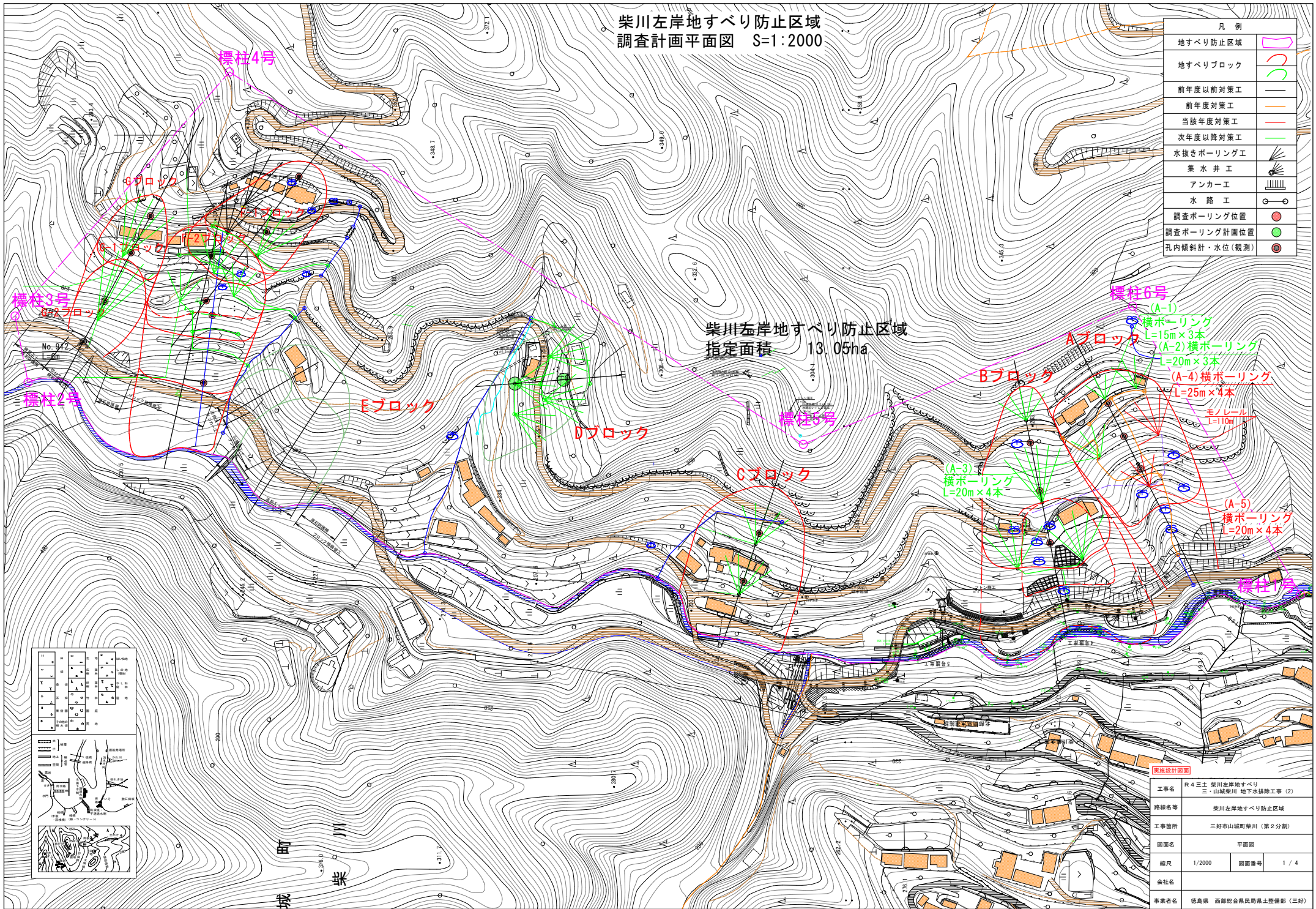


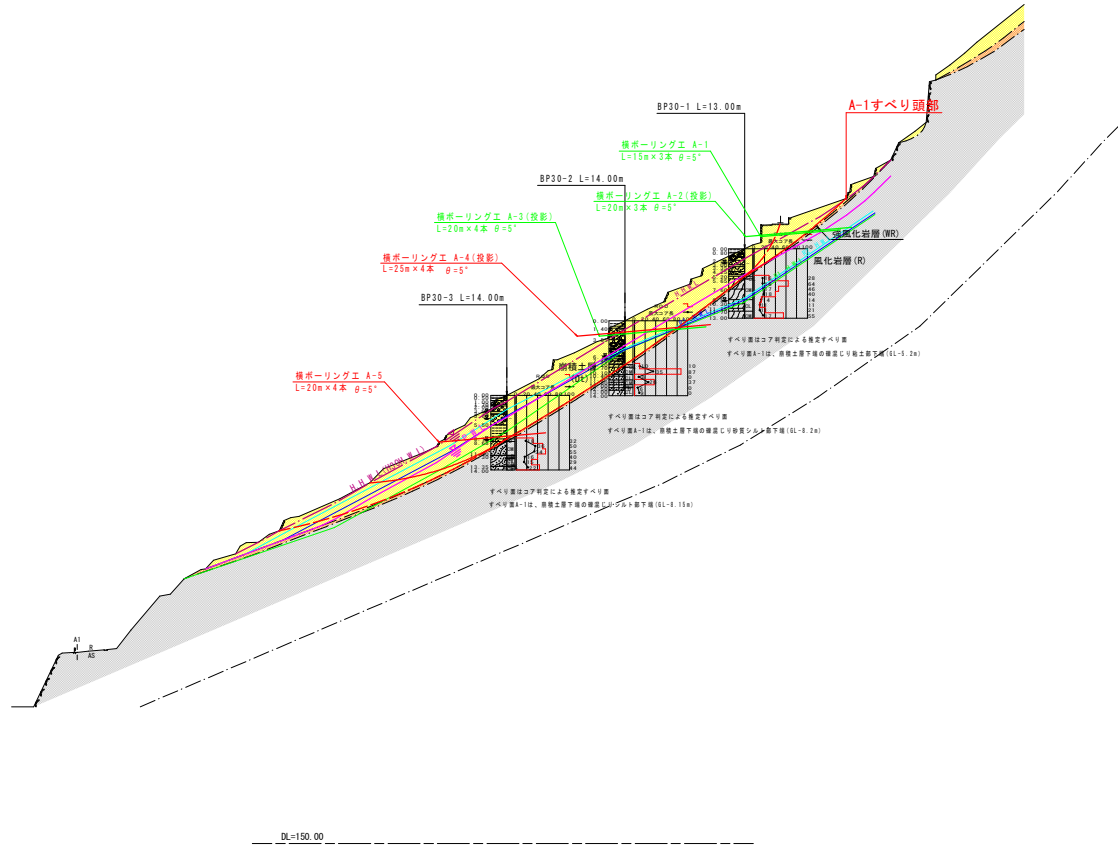
柴川左岸地すべり防止区域
調査計画平面図 S=1:2000

凡例	
地すべり防止区域	
地すべりブロック	
前年度以前対策工	
前年度対策工	
当該年度対策工	
次年度以降対策工	
水抜きボーリング工	
集水井工	
アンカー工	
水路工	
調査ボーリング位置	
調査ボーリング計画位置	
孔内傾斜計・水位(観測)	



実施設計図面	
工事名	R 4 三土 柴川左岸地すべり 三・山城柴川 地下水排除工事 (2)
路線名等	柴川左岸地すべり防止区域
工事箇所	三好市山城町柴川 (第2分割)
図面名	平面図
縮尺	1/2000 図面番号 1 / 4
会社名	
事業者名	徳島県 西部総合県民局県土整備部 (三好)

Aブロック地質断面図 S=1:500



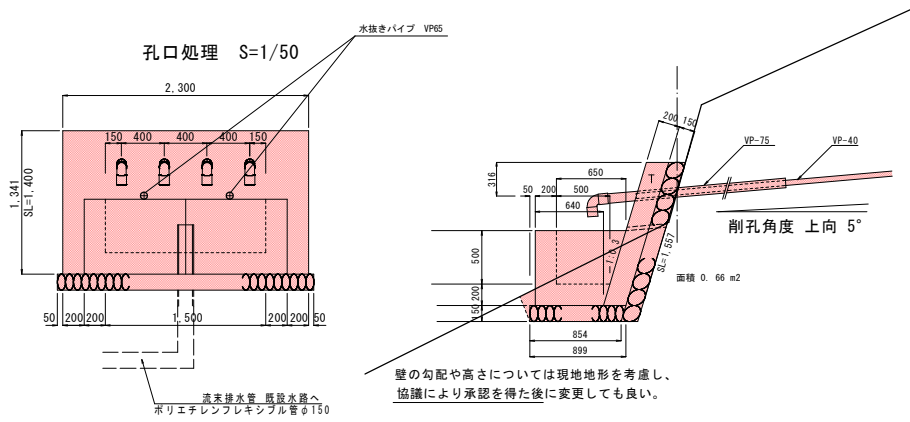
凡例

時代	記号	地質
新世代	第四紀 (Q)	崩壊土層
中生代～古生代	(WR)	風化岩層 三好川
	(R)	風化岩層 結晶片岩

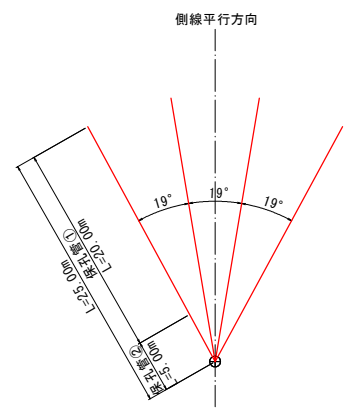
—	すべり面
—	崩壊土層下層の崩壊じりすべり面 (DL-1, 2a)
—	崩壊土層下層の崩壊じりすべり面 (DL-1, 2a)
—	崩壊土層下層の崩壊じりすべり面 (DL-1, 2a)
—	崩壊土層下層の崩壊じりすべり面 (DL-1, 2a)
—	崩壊土層下層の崩壊じりすべり面 (DL-1, 2a)

実施設計図面 (Aブロック)	
工事名	R4 三土 柴川左岸地すべり 三・山城柴川 地下水排除工事 (2)
路線名等	柴川左岸地すべり防止区域
工事箇所	三好市山城町柴川 (第2分割)
図面名	地質断面図
縮尺	1/500
図面番号	2 / 4
会社名	
事業者名	徳島県 西部総合県民局県土整備部 (三好)

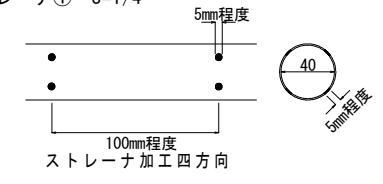
横ボーリング工構造図(A-4)



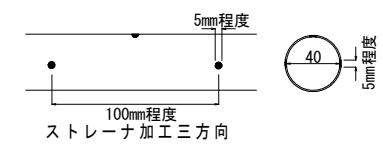
横ボーリング工 S=1/500



ストレーナ① S=1/4

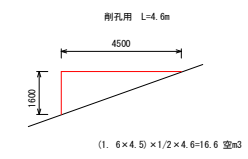


ストレーナ② S=1/4



ストレーナは適切なジョイントにて堅固に接合すること。
ネジ式で接合する際は開孔方向のズレに留意して、堅固に接合できない場合はジョイントを用いること。

足場工 S=1/100



平面図 S=1:1000



孔口処理工 数量表

項目	数量算出式	1.0箇所当り
コンクリート	$\sigma_{ck}=18N/mm^2$ $0.2 \times 1.4 \times 2.3 = 0.644$	0.644 m ³
円土留	$(1.4 \times 2.3) \times (1.4 \times 0.2 \times 2) = 3.78$	3.78 m ²
円土留名簿	$t=150$ $1.557 \times 2.3 = 3.58$	3.58 m ²
排水用コンクリート	$\sigma_{ck}=18N/mm^2$ $(0.64+0.85) \times 0.7/2 \times 1.5) - ((0.5+0.65) \times 0.5/2 \times 1.5) = 0.56$	0.56 m ³
円土留	$1.33+1.043+0.75+0.575=3.698$	3.698 m ²
	$(1.5+0.2+0.2) \times 0.7=1.33$	
	$(0.64+0.85) \times 0.7/2 \times 2=1.043$	
	$1.5 \times 0.5=0.75$	
	$(0.5+0.65) \times 0.5/2 \times 2=0.575$	
基礎砕石	$t=150$ $2.3 \times (0.854+0.899)/2 = 2.01$	2.01 m ²
床	$0.66 \times 2.4 = 1.584$	1.584 m ²
硬質塩化ビニール	VP-65 $0.38 \times 2 = 0.72$	0.72 m ²
塩化ビニール	VP-75 $2.0 \times 4 = 8.0$	8.0 m ²
エルボ	90° φ75	4個
エルボ	90° φ150	1個
ソケット	φ150	1個
硬質塩化ビニール	VP-150	1.0 m ²
足場(鋼管)	φ150	16.6 空m ³
波形無孔管	φ150	30 m

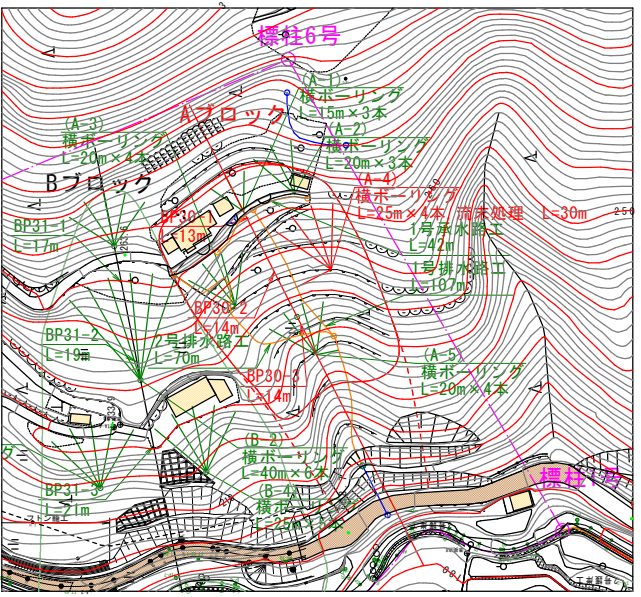
5,000	20,000
保孔管②	保孔管①
20,000	5,000
硬質土	軟岩

水抜きボーリング

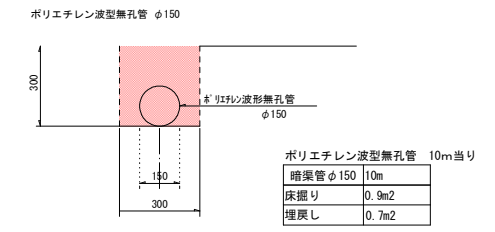
硬質土	軟岩	計
20.00	5.00	25.00
20.00	5.00	25.00
20.00	5.00	25.00
20.00	5.00	25.00
80.00m	20.00m	100.00m

保孔管

ストレーナ①	ストレーナ②	計
20.00	5.00	25.00
20.00	5.00	25.00
20.00	5.00	25.00
20.00	5.00	25.00
80.00m	20.00m	100.00m

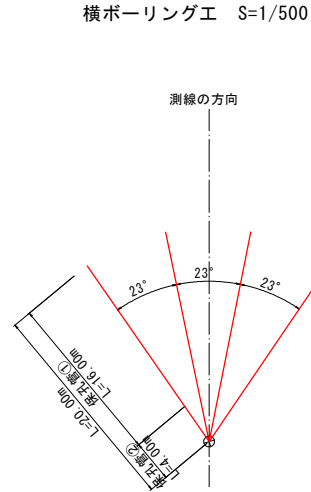
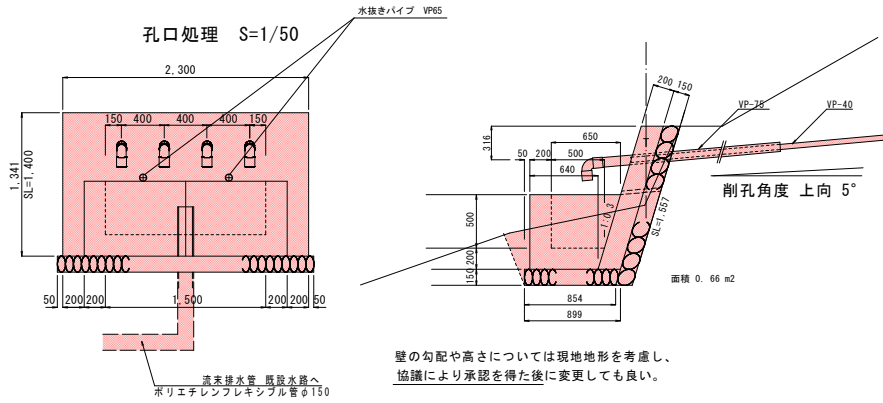


流末暗渠工 S=1/20

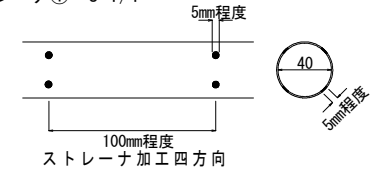


実施設計図面		Aブロック	
工事名	R4工区 奥川左岸地すべり	三・山城奥川 地下水排除工事 (2)	
路線名等	奥川左岸地すべり防止区域		
工事箇所	三好市山城町奥川(第2分割)		
図面名	横ボーリング工構造図(A-4)		
縮尺	図示	図面番号	3 / 4
会社名			
事業者名	徳島県 西部総合員局土木整備部 (三好)		

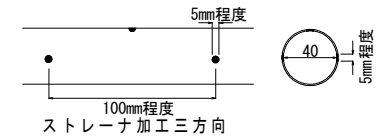
横ボーリング工構造図(A-5)



ストレーナ① S=1/4

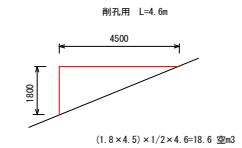


ストレーナ② S=1/4

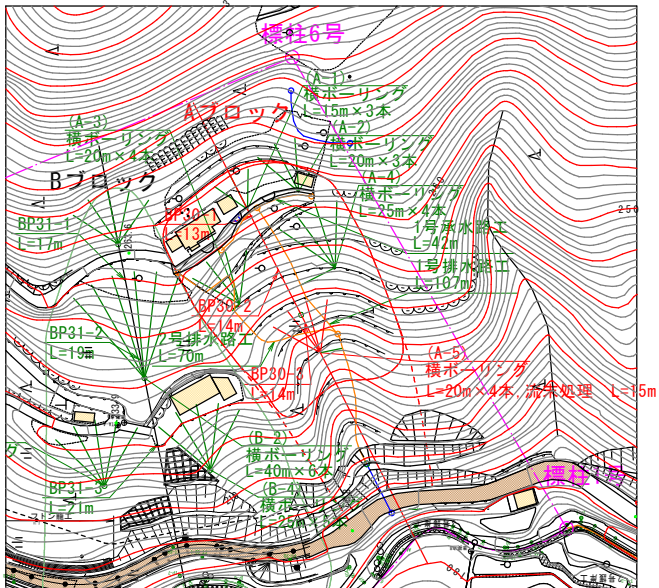


ストレーナは適切なジョイントにて堅固に接合すること。ネジ式で接合する際は開孔方向のズレに留意して、堅固に接合できない場合はジョイントを用いること。

足場工 S=1/100

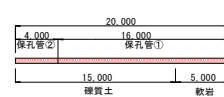


平面図 S=1:1000



孔口処理工 数量表

項目	数量算出式	数量
コンクリート	$\sigma_{ck}=18\text{N/mm}^2$ $0.2 \times 1.4 \times 2.3 = 0.644$	0.644 m ³
同上型枠	$(1.4 \times 2.3) + (1.4 \times 0.2 \times 2) = 3.78$	3.78 m ²
同上裏石積	$t=150$ $1.557 \times 2.3 = 3.58$	3.58 m ²
集水側コンクリート	$\sigma_{ck}=18\text{N/mm}^2$ $(0.64 + 0.85) \times 0.7 \times 1.5 - ((0.5 + 0.65) \times 0.5 \times 2 \times 1.5) = 0.56$	0.56 m ³
同上型枠	$(1.5 \times 0.5 + 0.75) + ((0.64 + 0.85) \times 0.7 \times 2) \times 2 = 1.043$	1.043 m ²
基礎砕石	$t=150$ $2.3 \times (0.64 + 0.85) / 2 = 2.01$	2.01 m ²
床 壁	$0.16 \times 2.4 = 1.344$	1.344 m ³
硬質強化ビニール	VP-65 $0.36 \times 2 = 0.72$	0.72 m
硬質強化ビニール	VP-75 $2.0 \times 4 = 8.0$	8.0 m
エルボ	90° φ75	4 個
エルボ	90° φ150	1 個
フタ	φ150	1 個
硬質強化ビニール	VP-150	1.0 m
足場(組立)	φ150	18.6 空m ³
透気無孔管	φ150	15 m



水抜きボーリング

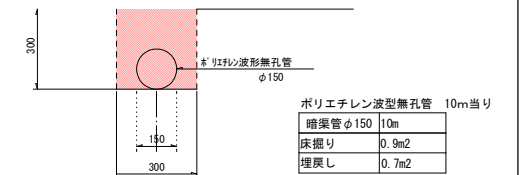
層別	数量	計
15.00	5.00	20.00
15.00	5.00	20.00
15.00	5.00	20.00
15.00	5.00	20.00
60.00m	20.00m	80.00m

保水層

ストレーナ①	ストレーナ②	計
16.00	4.00	20.00
16.00	4.00	20.00
16.00	4.00	20.00
16.00	4.00	20.00
64.00m	16.00m	80.00m

流末暗渠工 S=1/20

ポリエチレン波型無孔管 φ150



実施設計図面 Aブロック

工事名	R4三土 泉州左岸地すべり
路線名等	三・山崎線川 地下水排除工事(2)
工事箇所	泉州左岸地すべり防止区域
図面名	三好市山崎町泉州川(第2分断)
図面番号	横ボーリング工構造図(A-5)
組尺	図示 図面番号 4 / 4
会社名	
事業者名	徳島県 西部総合県民局農土整備部(三好)